

仙北市総合教育会議 会議録

開催日時 平成30年2月15日(木) 午後1時00分
開催場所 仙北市役所 角館庁舎 西側庁舎2階 第3会議室
出席者

(構成員)

| | |
|------------------|---------|
| 仙北市長 | 門 脇 光 浩 |
| 仙北市教育委員会委員長 | 安 部 哲 男 |
| 仙北市教育委員会委員長職務代理者 | 河 原 田 修 |
| 仙北市教育委員会委員 | 坂 本 佐 穂 |
| 仙北市教育委員会委員 | 橋 本 勲 |
| 仙北市教育委員会委員・教育長 | 熊 谷 徹 |

(市長部局)

| | |
|--------|---------|
| 仙北市副市長 | 倉 橋 典 夫 |
| 総務部長 | 運 藤 良 克 |

(教育委員会)

| | |
|---------------|---------|
| 教育部長 | 渡 辺 久 信 |
| 教育次長兼スポーツ振興課長 | 高 橋 和 宏 |
| 教育次長 | 茂 木 雅 宏 |
| 教育次長 | 浦 山 英一郎 |
| 北浦教育文化研究所所長 | 三 浦 政 喜 |
| 教育総務課長 | 朝 水 勝 巳 |

案 件

(1) 仙北市学校適正配置について

運藤総務部長 お疲れ様です。定刻になりましたので、平成29年度第3回仙北市総合教育会議を開会いたします。

はじめに、門脇市長からごあいさつをお願いします。

門脇市長 ご苦労様です。大雪で、皆さま大変ご難儀をされていることだと思います。しかしながら、春は必ず来ますので一踏ん張りしましょう。ということで、今日は、仙北市総合教育会議にご参加いただきまして誠にありがとうございます。今回から、橋本委員にもよろしくお願ひ申し上げたいと思います。

橋本教育委員 よろしくお願ひいたします。

門脇市長 今日の案件は、仙北市学校適正配置についてということであり、ますけれども、19日から市議会が開会となります。この点のお話がかかり出てくるものというふうに予測をしております。

また、学校の教育環境の整備であったり、子どもたちの生活環境であったりというところまで、教育の分野で対応できること、もしくは、地域で対応できること、福祉の分野で対応できるもの色々ありますけれども、そういう案件も出てくるものというふうに想定しております。

さらに、総合体育館の話、そして今実施計画を、この後実施設計を提案しようと思っております、総合給食センター、多くの多くの懸案事項があります。学校の長寿命化対応の事業も来年度の予算に組み込んでいるという状況がありまして、まさに、人育ての場面、現場で、様々な課題を如何に解決するかということが、この後の仙北市総合教育会議で集中的な議論が必要と思っております。仙北市総合教育会議という制度を活用し

て、行政と教育行政が一体となって子どもたちを育み、それが地域の力に育っていくというような、きちんとした道筋を皆さんとご議論したいと思っております。よろしく願い申し上げます。以上であります。

運藤総務部長 それでは、安部教育委員会委員長からごあいさつをお願いいたします。

安部教育委員会委員長 はい。皆さん、ご苦労様です。ただいま市長から、教育に対しての熱い思い、期待のお話を伺って、私たちもその責任の重さを改めて痛感したところであります。本日の議題であります、仙北市学校適正配置の課題については、いつも、いよいよ正念場に立ったなという思いはずっとしてききましたが、本当に今こそ正念場というか、平成30年度に向けて、私たち教育委員会としても十分に話し合っておりますし、そのことについて、市長さんをはじめ、今日出席されている方々にも十分ご理解いただけるような話し合いになればいいなと思っております。どうか、よろしく願いします。

運藤総務部長 はい、ありがとうございます。

さっそく協議案件に入らせていただきます。ここからの進行は、門脇市長をお願いいたします。よろしく願いいたします。

門脇市長 では、さっそく協議案件に入ります。(1)仙北市学校適正配置について、協議案件といたします。事務局の方から説明をお願いいたします。

浦山教育次長 はい、資料をご覧ください。それでは、私の方から資料について説明させていただきます。資料については、大きな変更はございません。ただ、若干加筆したところがございます。その点は、一枚目の資料の複式学級を線で繋いで明示をしたという

ところ、それから、桧木内中学校の推移予測について、前回までは小学校と併せて35年までしか出しておりませんが、41年まで表示したというところでもあります。前回の協議から継続協議ということでございますので、本日については、具体的な検討対象校をどうするか、それから、今後のスケジュールについてこのような案でよろしいのか、また、この後の議会との対応について、どのようにしていくかというようなことについて、ご協議いただければありがたいと思います。どうか、よろしく願いいたします。

門脇市長 はい。今、事務局から説明がありましたけれども、新たな委員、橋本委員は、この資料等についてはお目通しされていらっしゃるでしょうか。

橋本教育委員 はい。

門脇市長 それでは、さっそくですけれども、協議ということで意見交換をさせていただきたいと思います。皆さま方からご意見をいただきましょう。坂本委員からお願いします。

坂本教育委員 はい。今まで、長い時間をかけてここまでもってきたわけですが、やはり中川小学校、桧木内中学校、人数的な数字だけで考えると、統合の検討に入らなければならないという時期まできていると思います。ただ、それがイコール統合する、統合を最終目標として進めていくのではなく、これからじっくり住民ですとか保護者、地域の方々との話し合いをもって、進めていかなければいけないのではないかと考えております。おそらく、地域の方々には、地域に学校を残して欲しいという案が出るであろうことは予測されますけれども、そこを住民の意見も踏まえつつ、数字的なもの、それから仙北市学校適正配置研究検討委員会が出された案を無駄にすることなく、慎重に進め

ていつていただきたいと思っています。

門脇市長

はい。そうすれば基本的には、この後19日から始まる市議会でありますけれども、多分、教育行政報告の場面、もしくは、議会の一般質問等で、現在の推進計画はもちろんそうですし、学校名等の表記、表記と言うか発言と言うか、名称もお出ししていくということを前提として、統合ありきではなくて、この後いよいよそういう話し合い、最善の話し合いを行うというステージに立つということに対しては、反対ではないという、そうしなければならぬというお考えということによろしいでしょうか。

坂本教育委員

そうですね、そう思います。これまでに、仙北市学校適正配置研究検討委員会の委員の方々に長い時間をかけて話し合っていたいただいたものでもありますので、それを活かしつつ、数字が表れているということは、学校名は当然予測されることですので、そこは名前を出して進めても仕方がない時期にきていると思います。

門脇市長

はい、わかりました。橋本委員、恐縮ですけれども順番にいきます。

橋本教育委員

今ちょっとお話ありましたけれども、仙北市学校適正配置研究検討委員会の方で色々検討されて、適正配置についての基準が示されておりますので、その基準に合致する対象校の地域の皆さんに、現状と将来について説明していくということは、必要なことだと思います。今まで学校名というのは、公表されていないようですけれども、この基準に沿う学校というのは、およそ想像がつくと思いますので、学校名を出して検討することは必要だと思います。ただ、今坂本教育委員からもお話あったように、統合ありきということではなくて、地域の皆さ

んの意見を十分に尊重しながら進めていくという、そういう方針でやっていただきたいというふうに思います。

門脇市長 はい、わかりました。ありがとうございます。河原田教育委員会委員長職務代理者、いかがでしょうか。

河原田教育委員会委員長職務代理者 はい。坂本教育委員、橋本教育委員が言われたようなことだと思います。ただ、学校統合ありきではないのだけれども、基本的には住民の意見を聞くということではあるのですけれども、やはり一番は子どもたちのことを第一に考えて、地元の意見で統合したくないと言っても、子どもたちに必要であれば、それは統合せざるを得ないのではないかなということ、やっぱり考えて進めていくことが必要なのかなと思います。

門脇市長 はい。ありがとうございます。熊谷教育長、お願いします。

熊谷教育長 はい。皆さまの意見と同じであります。統合ありきということではないですけれども、やはり子どもたちのことを第一に考えなければいけませんし、講師の問題等色々ありますけれども、トータルで考えてもやはり、子どもという面で考えるとなんとかご納得いただかなければ、中々難しいというふうな現状になりつつあります。そういうことで、私は強い思いで訴えて参りたいと思います。

門脇市長 わかりました。安部教育委員会委員長、どうでしょうか。

安部教育委員会委員長 はい。今、教育委員会の委員の皆さんのお話ししたとおりなのですけれども、さらに付け加えさせていただければ、例えば、基本方針の（３）の①近隣の学校への就学指定校変更を希望する傾向が顕著に表れてきた場合、というのがあります。既に市長さんをご存知かとは思いますが、今年中川小学校に

方々で、仙北市総合教育会議の会議録であったり、仙北市教育委員会定例会の会議録であったり、大変着目してくださっている方々がいらっしゃいます。大変ありがたいことです。しかしながら、その開示に随分時間がかかっているということで、リアルタイムはちょっと難しいとしても、できるだけ早い時期に会議録の開示をお願いしたいというお話がありました。どうか事務局の方も大変かもしれませんが、できるだけ早くの情報公開をお願いしたいということをお願いさせていただきたいと思います。

他には、ないでしょうか。

渡辺教育部長 はい。そうすれば事務局から、総合給食センターの建設に関する進捗状況について、一言皆さまに現状等をご報告申し上げます。

茂木教育次長 資料はないですけれども、今、皆さんもご存知のとおり基本設計作成中でございます。ある程度、段階的にできてきておりますが、実際に今こちらで検討課題としてあるのは、見学コースを設けるか設けないかということでございます。実際、見学コースを設けました事業例が多くあったりします。こちらの方では、見学コースを設けなくて、作ることに専念したいと思って今進めております。

門脇市長 はい。総合給食センターの件について、現状をご報告いただきましたけれども、皆さま方から何かご意見、ご質問等ございますか。

委員 (「なし。」という声あり)

門脇市長 はい。これも、情報の共有をさせていただきたいと思います。他に、ないでしょうか。

委員 (「なし。」という声あり)

門脇市長 ないようでありますので、進行をお返しします。

運藤総務部長 はい、ありがとうございました。

それでは、第3回仙北市総合教育会議、これで終了させていただきます。ありがとうございました。

(午後1時45分終了)

上記会議録に相違ないことを認め署名する。

仙北市長

仙北市教育委員会委員長

仙北市教育委員会委員長職務代理者